

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人やまゆり

法人基本理念に基づき、地域の皆様や利用者様、家族様との結びつきを重視して住み慣れたそれぞれの地域で、だれもが安心して住むことができ、住んで良かったと感じていただけるよう全事業を行ってきた。

主な実施事業

1. 各事業所の円滑かつ安定的な運営

令和4年9月に策定した「やまゆり中長期経営計画」を柱として、事業の円滑かつ安定的な運営及び経営のために業務改善等を実行し様々な課題の解決を行った。

新たな事業譲受として、令和7年4月1日に西出雲に、小規模多機能型居宅介護事業所山ぼうし、併設住宅型有料老人ホーム山ぼうしを、また平田地区で、就労継続支援B型、および相談支援事業所フィリアを開所した。当初、様々な課題はあったが、職員の意識改革を進め、安定した経営を維持することができるようになってきている。

支出については、昨今の物価高騰の影響に直面しつつも、管理職を中心に情報共有、経営課題の分析や現状の見直し等、PDCAサイクルを回しながら課題の解決を行い、固定費の削減を図った。しかしながら、老朽化した施設や設備の修繕が多くあり、当初想定していた収益の確保に至らない側面もあった。しかしながら、老朽化への対応や修繕は、ご利用者の安全とサービスの質を維持するために不可欠であるので、今後はこれまで以上に各事業所の強みを生かした柔軟な運営体制を構築し、確実な収益性の向上と安定した経営基盤の確立を目指していく。

また、現場の業務効率化、情報伝達の迅速化、ケアの質の向上等を目的としてICT化を促進した。島根県の補助金を活用し、入居施設ヘインカム、眠りスキャン（夜間見守りセンサー）、記録用ソフト、タブレットの導入等を行った。これにより現場の業務改善の基盤が整った。今後は機器の運用を定着させ、ICTを生かしたケアの質の向上を実践していく。

2. 安心・安全対策

感染症の感染予防対策として職員間での「やまゆりKYC活動」を徹底して行った。

定期的な災害時の訓練とBCPの研修を行いながら、職員の意識向上に努めた。

3. 人材育成・人材確保活動

(1) SNS（Facebook、Instagram）から法人の事業の様子や職員の活動、風景などを情報発信することで「やまゆり」のPRを行った。

- (2) 衛生委員会を毎月開催。健康診断やストレスチェックを実施し職員の健康づくりを図り、働きやすい職場づくりに取り組んだ。
- (3) 処遇改善加算を活用し、職員処遇の改善を行い、雇用の安定に努めた。
- (4) 新規学卒採用者の確保については、施設課を主体に、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校の外部講師の受託等を通して、当法人の PR 活動を行い、新規採用者を確保した。
- (5) 新卒者及び前年度採用した職員を対象に、新規採用職員研修を実施し、法人職員としての心構えや介護等の知識を理解することで、職員資質の向上に努めた。また、可能な外部研修に参加するとともに、法人内の研修について感染対策を施しながら計画的に行い、よりよいケアを提供するためのスキルアップに努めた。

4. 地域とのつながり（地域貢献活動）

ふれあいだんだん祭りについては、参加者を法人内に制限し行った。法人全体での介護実践発表会は中止したが、法人内でそれぞれの課で実施した。

また、音楽サークル（Tree Rings）は活動の場を広げ、各事業所での演奏会や地域（ごっこい祭りや地域のサロン等）へ出かけ演奏をすることで、地域の皆様とのつながりを広げ、法人の PR 活動を行った。職員内でも活動の輪が広がり、参加する人数も増え、楽しみや特技を発揮できる場所となり、職員定着に結び付いた。

地域とのつながりを深める取り組みは、法人の基本理念を体現する有用な活動である。今後も地域に開かれた事業所運営を法人挙げて推進していく。

令和 7 年度 事業報告 法人運営

1. 会議の開催

各種会議を開催し、法人の円滑な運営を図った。

- (1) 理事会の開催 (7回: 4/8、6/9、6/24、9/6、1/21、書面 2 回)
- (2) 評議員会の開催 (3回: 4/17、6/24、3/30)
- (3) 評議員協議会の開催 (1回: 7/31)
- (3) 評議員選任・解任委員会の開催 (1回: 6/17)
- (4) 監査会の開催 (2回: 5/30、1/21)
- (5) 内部経理監査会の開催 (1回: 3/31)
- (6) 管理会・経営戦略会議 (1 2 回: 毎月)
- (5) 衛生委員会 (1 2 回: 毎月)

2. 研修会の開催及び参加

- (1) 役職員人権研修会の開催 (書面による研修)
- (2) 社会福祉法人指導監査説明会・研修会

3. 職員人事

- (1) 採用 4 3 名 (内訳 正規 1 7 名、準 2 名、嘱託 2 名、臨時 3 名、パート 1 9 名)
- (2) 退職 2 3 名 (内訳 正規 4 名、嘱託 1 名、臨時 3 名、パート 1 4 名)

4. 広報発行 4 回 (6 月、9 月、1 月、3 月)

地域住民の方等へ当法人の事業内容や情報を提供するため、広報誌を作成し佐田町内、稗原地区等の各世帯 (約 1, 7 0 0 世帯) や関係機関等へ配布した。

5. 理事会議案

議案第 1 号	定款の一部改正について	第125回	令和 7 年4月8日
議案第 2 号	基本財産の担保提供について	〃	〃
議案第 3 号	臨時評議員会の招集について	〃	〃
議案第 4 号	パート職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 1 号	令和 6 年度資金収支補正予算 (第 4 回) について	第 126 回	書面
議案第 1 号	令和 6 年度事業報告及び令和 6 年度計算書類及び財産目録の承認について	第 127 回	令和 7 年 6 月 9 日
議案第 2 号	理事、監事の推薦について	〃	〃
議案第 3 号	評議員候補者の推薦について	〃	〃
議案第 4 号	評議員選任・解任委員の選任について	〃	
議案第 5 号	評議員選任・解任委員会の開催について	〃	〃
議案第 6 号	定時評議員会の招集について	〃	〃
議案第 7 号	組織管理規則の一部改正について	〃	〃

議案第 8号	経理規程の一部改正について	〃	〃
議案第 9号	就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 10号	臨時職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 1号	理事長の選任について	第128回	令和7年6月24日
議案第 2号	利益相反に関する事項の承認について	〃	〃
議案第 3号	給与等に関する規程の一部改正について	〃	〃
議案第 1号	「出雲市総合事業訪問型サービス A」事業の実施について	第129回	書面
議案第 1号	事務処理規程の一部改正について	第130回	令和7年9月16日
議案第 2号	給与等に関する規程の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	準職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	臨時職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 5号	パート職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 6号	令和7年度資金収支補正予算（第1回）について	〃	〃
議案第 1号	退職積立預金の取り崩しについて	第131回	令和8年1月21日
議案第 2号	令和7年度資金収支補正予算（第2回）について	〃	〃
議案第 3号	通所こもれびの家の廃止について	〃	〃
議案第 1号	役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について	第132回	令和8年3月18日
議案第 2号	就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	給与等に関する規程の改正について	〃	〃
議案第 4号	契約職員賃金規程の策定について	〃	〃
議案第 5号	パート職員賃金規程の策定について	〃	〃
議案第 6号	年次有給休暇等に関する規程の策定について	〃	〃
議案第 7号	人件費積立預金の取り崩しについて	〃	〃
議案第 8号	令和7年度資金収支補正予算（第3回）について	〃	〃
議案第 9号	障がい者相談支援事業所ほっとの廃止について	〃	〃
議案第 10号	相談支援事業所フィリア運営規程の一部改正について	〃	〃
議案第 11号	令和8年度事業計画及び資金収支予算について	〃	〃
議案第 12号	役員等賠償責任保険契約について	〃	〃
議案第 13号	出雲市生活支援ハウス管理協定締結について	〃	〃
議案第 14号	臨時評議員会の招集について	〃	〃

6. 評議員会議案

議案第 1号	定款の一部改正について	第63回	令和7年4月17日
議案第 2号	基本財産の担保提供について	〃	〃
議案第 1号	定款の一部改正について	第64回	書面
議案第 2号	基本財産の担保提供について	〃	〃
議案第 1号	令和6年度計算書類の承認について	第62回	令和7年6月24日
議案第 2号	理事、監事の選任について	〃	〃
議案第 1号	役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について	第63回	令和8年3月30日

7. 公益事業

不動産の賃貸

八幡原事業所(建物、土地)の貸出

貸出先 NPO 法人スサノオの風

令和7年度 事業報告

特別養護老人ホームやまゆり苑・短期入所事業所

(介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業)

1. 利用実績

○特養入所実績 年間総計 17,182名、一日平均入所者数 47.1名

月	4	5	6	7	8	9
人数(名)	1380	1432	1468	1511	1522	1437

10	11	12	1	2	3
1450	1407	1444	1356	1301	1474

○短期入所実績（予防利用含む）年間総計 2,739名、一日平均利用者数 7.6名

月	4	5	6	7	8	9
人数(名)	194	200	226	214	254	226

10	11	12	1	2	3
268	251	242	242	208	214

2. 特養入所者の介護度の状況（令和8年3月末日現在） 平均介護度

介護度	1	2	3	4	5	計
男性	0	0	3	2	2	3.6
女性	0	0	13	13	16	4.1
計	0	0	16	15	18	3.85

3. 特養入所者の平均年齢（令和8年3月末日現在）

男性 85.71歳	女性 90.04歳	全体平均 89.32歳
-----------	-----------	-------------

4. 特養入所者の死亡者の状況

性別	看取りの場所 (病院)	看取りの場所 (自宅)	看取りの場所 (苑)	合計
男性	1	0	6	7
女性	1	0	8	9
合計	2	0	14	16

5. 特養入所者の入院の状況

実人数	年間入院者延人数	年間入院者実日数(入・退院日を含む日数)
19名	24名	527日

6. 特養入所者の受診の状況（往診含む延人数）

歯科	精神科	皮膚科	泌尿器	整形	その他	救急	合計
21名	24名	14名	60名	1名	52名	18名	190名

7. 特養入所者の外出・外泊の状況

延べ外出者数	延べ外泊者日数
29件	0日

8. 季節行事等の状況

月	内 容
6 月	土砂災害避難訓練 トリニティ学生ボランティア活動 出雲三中福祉体験学習 吉栗サロンフレイル予防研修会及び演奏会
7 月	家族会清掃活動・草刈り 介護実践発表会 トリニティ施設実習 大社中福祉体験学習参加 防火訓練 高齢者の集い研修及び演奏会
8 月	トリニティ学生ボランティア活動 日日是好日
9 月	敬老会 看護実習 佐田中福祉体験学習参加
10 月	出雲西高校施設実習 ふれあいだんだん祭り 法人職員で実施
11 月	島根県老協研究発表会 トリニティ施設実習 防火訓練
12 月	クリスマス会
1 月	とんど祭り
2 月	節分祭
3 月	物故者供養祭

9. 地域交流（ボランティア含む）の状況

吉栗の里サロンへの参加や、高齢者の集い、佐田中の福祉体験学習などに職員が出向き地域交流を行った。また、新型コロナウイルスまん延依頼家族会の行事もすべて中止していたが、令和7年度は家族会の清掃活動を行うことができた。新型コロナウイルス感染症等のまん延防止の観点から、入所者が直接地域交流をするには至っていない。今後少しずつでも交流の場をもてればと考えている。

10. 職員研修状況

別紙参照

11. 他機関、他施設よりの研修・視察の状況

出雲市介護相談員の受け入れを再開、またトリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校の学生をボランティアとして複数回受け入れた。

12. 広報活動

SNS を活用し、日々の活動やイベントなどの配信、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校のボランティア受け入れ時の法人のコマーシャル・求人活動を行い、また、Tree Rings の活動も範囲を広げ、神門コミセンでのお祭り、サンロード中町の春の街歩き等のイベントにも新たに参加して法人やまゆりの宣伝を行った。佐田町内では大呂夏祭り、佐津目夏祭り、

ごっこい祭り、他団体での研修・講習会等でもPR活動を行っている。

1 3. 苦情について

受付窓口や第三者委員への苦情はなかった。

1 4. やまゆり苑家族会の活動について

月	内 容	
6 月	家族会役員会	実施
7 月	家族会清掃・草刈りの活動	実施
9 月	敬老会	参加なし
1 0 月	ふれあいだんだん祭り	参加なし
1 1 月	清掃活動	中止
3 月	役員会	中止

【考察】

1. 利用実績について

(1) 昨年度と利用実績比較

- ・特養は、令和6年度年間総計17,283名、一日平均入所者数47.7名と比較し、令和7年度は年間総計が17,182名と101名の減。目標稼働率(48.6名/日)には到達していない。
- ・短期入所は、令和6年度年間総計2,779名、一日平均利用者数6.9名と比較し、令和7年度は年間総計が2,739名と40名の減。目標稼働率(9.4名/日)には到達していない。

(2) 利用者の状況と入退所動向

- ・介護度の分布、平均年齢、年間受診状況に大きな変化はない。
- ・死亡者数は、令和6年度18名に対し、令和7年度16名だが、2名は療養型に移ったため、実質は18名の退所で昨年度と同じ。
- ・退所から入所までの空所日数は、令和6年度331日から令和7年度613日となり282日空床の期間が増えてしまった。要因として考えられるのは、待機者の減少。令和5年度の空床909日から空床期間を減らす取組みとして、事前の入所意向確認は継続しているため、ある程度の成果は出ているが、思うように空床期間を埋めることができなかった。市内の施設も待機者が減っているとの情報もあるが、反面立地によっては松江や雲南も対象にしやすい、要介護4以上の方のみ受け入れている施設もあると聞く。今後佐田町の人口減少は加速すると思われる年々厳しい状況となることが予想されるが、待機者をどうやって増やすかが大きな課題となる。
- ・入院者数(延べ)は令和6年度681名に対し令和7年度は508名と173名減。例年12月～3月は感染症などによる入院者が増えるが、令和7年度は感染予防策として、陰部洗浄を定期的に取り入れ、尿路感染を防止できたため、入院者数を減らすことができた。

2. 福祉機器の活用について

- ・インカム(職員間の情報伝達機器)導入後、全職員が使用できているが、課題は管理。子機の落下や水没、ヘッドセットの破損等、人的要因による故障がかなり発生した。ICT機器は使いこなせば非常に便利で、業務削減できる。

反面高価なため、修理や買い替えが必用となると子機とヘッドセットで1セット11万円程度と大きな支出となる。令和7年度後半で、ICT委員が講師となり、機器の管理の基礎を研修し、一人ひとり管理の仕方や、大切に扱う意識付けを行った。また、3月には補助金を使い眠りスキャンを全室に導入。今後運用方法をリーダーとICT委員会で検討し、入所者のQOLと業務及び業務時間の削減に取り組む。

3. 広報活動（利用者、待機利用者、職員獲得）について

- ・職員の獲得については、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校の臨時講師を継続し、さらに学生がボランティアに来苑するようイベントとして複数回企画し、学生に働き掛けることで興味を促し、実習先に選ばれることで就職につなげるという流れを作った。この取り組みにより2名の学生を新規採用できた。

- ・Tree Ringsのバンド活動について、出雲市内の団体からオファーが来るようになったため、参加した際にパンフレットの配布やマイクを使った宣伝も行っている。また、活動内容をSNSで発信し、施設PRとしての役割を担っている。

- ・SNS発信についてもイベントごとの発信や、利用者の日々の生活等の内容の発信を継続している。

これらの広報活動のなかで、具体的に成果として見えているのは新規職員の獲得。上記の相乗効果で途切れることなく1～2名の職員獲得できている。一方で、利用者の獲得につながっているか、また、中途採用につながっているのか等のデータはなく、これらに明確につながるような取り組みは模索中。

4. 家族交流・社会交流（感染症対策との関連）

- ・家族の面会について、午前・午後2組ずつに緩和し、居室での面会を解放した。これが原因となる感染症などは起こっていないため、今後も緩和について検討できるのではないかと考える。また、物故者供養祭を開催し、中止していた遺族の参加を再開したことで、遺族はやまゆり苑での家族の生活を改めて偲ぶことができ、また、職員もその様子を見ることで見取りへの意識をさらに向上させることができた。

5. サービスの質向上について

- ・スキンケア委員会にて尿路感染予防のために定期的な陰部洗浄を提唱し、実施したことで、感染症を防ぐことができた。何を当たり前にするのかを考えることは、サービスの質を上げることにつながる。

- ・導入した福祉機器をうまく運用できると業務と時間の削減となり、その時間をサービスの質向上のために使うことができる。良いサービスを提供するために一人ひとりが考えてうまく使えるようになること、その意識をもって取り組むことが大切。

- ・ユマニチュード技法によるケアを中心にPDCAサイクルを活用し、各委員会や専門職が一体となって、褥瘡予防、転倒予防、安全な食事、睡眠促進、活動、穏やかな生活などQOLの向上につなげることを継続する。

令和7年度 事業報告

グループホームせせらぎの家

(認知症対応型共同生活介護)

7年度目標

○おちらと、ほがらかに、いつまでも自分らしい生活を大切にします

1, 利用実績（入院含む）年間総計 6,052 人、一日平均入所者数 16.5 人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数（名）	499	519	518	518	524	540

10月	11月	12月	1月	2月	3月
533	510	527	498	420	446

2, 介護度の状況（令和8年3月末現在） 平均介護度 2.16

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	2	0	0	0	2
女性	3	3	3	1	0	10
計	3	5	3	1	0	12

3, 平均年齢（令和8年3月末現在）

男性 82.0 歳	女性 87.7 歳	全体平均 86.7 歳
-----------	-----------	-------------

4, 死亡者の状況

性別	看取りの場所 (病院)	看取りの場所 (自宅)	看取りの場 (せせらぎの家)	合計
男性	0	0	0	0
女性	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5, 入院の状況

実人数	年間入院者延人数	年間入院者実日数 (入・退院日を含む日数)
4 名	4 名	42 日

6、季節行事等の状況

月	内 容
4 月	お花見（湖陵運動総合公園）
5 月	花の郷へ外出
6 月	
7 月	避難訓練
8 月	日日は好日、納涼祭
9 月	cotaba、笑いヨガ、トリニティ実習
10 月	法人祭り、八幡原宮秋祭り、老年看護実習、外食
11 月	ごっこ祭り、老年看護実習
12 月	せせらぎマーケット（神門コミセン）クリスマス会
1 月	とんど祭り
2 月	節分
3 月	cotaba、物故者供養祭、避難訓練
	誕生会などは各ユニットで実施

7、職員の研修状況

施設課の研修に参加

【外部研修】

認知症リーダー研修…1名

8、広報活動

令和7年度も前年度に引き続き、cotabaやごっこ祭りにせせらぎマーケットとして参加した。家族様から声を掛けて頂き、神門コミセンで行われたイベントにもせせらぎマーケットとして、町外のイベントに初めて参加することが出来た。ごっこ祭りの来客の7~8割は町外の方ということなので、町内の方はもちろん、町外の方にせせらぎの取り組みを知ってもらえる機会が出来たのではないかなと思う。

また、令和8年3月、4月とサンロードなかまの石橋呉服店の2Fでボックスショップをされており、そちらにも商品やパンフレットを置き、広報活動に努めた。

SNSにも昨年度に引き続き、活動の様子や普段の様子を投稿している。

【考察】

1. 利用実績について

令和 6 年度は年間総計 6,370 人、一日平均入所者数 17.4 人。令和 7 年度は年間総計 6,052 人、一日平均入所者数 16.5 人。年間総計は 318 人の減。

退所者数については令和 6 年度は 8 名（看取り 2 名、他施設入所 8 名）令和 7 年度が 13 名。（うち 7 名が 1 ユニット休止のためによるもの）また、1 ユニット休止になるかもしれないということから 10 月からは新規入所の受け入れをしていない。

退所から入所までの期間が令和 6 年度平均 27.8 日となっており、令和 7 年度平均 17.2 日であった。（最長で 32 日、最短で 3 日）目標が 14 日となっている中で、目標には届かなかったが、令和 6 年度に比べ、10 日近く縮めることが出来た。要因としては特養との連携により期間を縮めることが出来た。一方で入院され退所されたパターンでは日数がかかっている。急な退所にも対応出来るように管理者とケアマネが協力し、14 日以内の入所を目指す。

入院者数にも令和 6 年度は 10 名ではあったが、令和 7 年度は 4 名であり、日数的にも令和 6 年度の 1/10 程度であった。内訳としては、心不全 2 名、肺炎 2 名となっている。令和 6 年度は感染症に感染し、入院されることがあったが、令和 7 年度はなく、入院者減の一因となった。

また、待機者数を増やす取り組みも行っており、「cotaba」や「ごっこい祭り」に参加し、せせらぎの家や取り組みを知って頂く機会を作ったり、SNS で様子を発信してはいるが、なかなか増えないのが課題である。居宅やまゆりだけではなく、あんしん支援センターや老健たきに問い合わせ入所されたケースもあり、今後も連絡や関係作りを行っていく必要がある。また、利用者、家族にとっての良い施設を目指すのはもちろんだが、ケアマネの中でも評判が良い施設（ここだったら任せられる施設）を目指し、そこから入所に繋がられると思われる。

2. 介護度の状況について

令和 6 年度 3 月末では平均介護度が 2.47 だったが、令和 7 年度 3 月末が 2.16 となっている。これは介護度の高い方が特養入所などになり、平均介護度が下がったためである。介護度の変更申請を令和 6 年度は 6 名行ったが、令和 7 年度は 2 名であった。現在、介護度が 1 や 2 の方が多く、今後は利用者の ADL, アセスメントを行い、介護度の見直しを行っていく必要がある。

3. 感染対策について

令和 7 年度は利用者 1 名のインフルエンザ感染があった。感染経路は職員と

思われる。職員の感染対策の意識や風邪症状があれば、すぐに居室対応にすることより感染が拡大することはなかった。令和 6 年度は新型コロナウイルスで入院された方もおられたが、令和 7 年度は感染症による入院はなかった。

4. 家族・地域との繋がり

面会や外出が緩和され、2 年近く経とうとしている。その間にも、ご家族はもちろんお知り合いの方に会われたり、ご家族と自宅外出されご本人は喜んでおられた。地元の秋祭りで、せせらぎの家にも獅子舞に寄って頂き、喜ばれた。せせらぎマーケットとして、「cotaba」や「ごっこい祭り」に参加し、お客様や地域の方とのやり取りを行ったり、窪田コミセンで開催された「ハレの輪くぼた」で作品展示をさせて頂いた。

引き続き、LINE でのお便りを家族へ送っている。

5. 他事業所との連携

令和 7 年度、法人やまゆりとなった山ぼうしにせせらぎから 10 回程度、職員交流を行った。また、山ぼうしから利用者と職員が来られ、ネイル等、交流をし、せせらぎからも山ぼうしの行事に参加した。

特養には行事などで参加したり、研修のための職員交流も行った。

せせらぎで行った笑いヨガには、通所かがやきの家から利用者と職員も参加され、交流した。

令和 7 年度 事業報告

小規模多機能型居宅介護事業所山ぼうし

住宅型有料老人ホーム山ぼうし

令和 7 年度目標 ○いつもの笑顔がここにある
 ～「感謝と精進」・「誠心誠意」・「相互理解と信頼」～

【利用実績】

小規模多機能型居宅介護

利用者数 定員 29 名 1 日平均利用者数 20 名（稼働率 68.9%）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用者数	556	563	564	564	562	580	581	589	696	681	600	759	7,295

有料老人ホーム

利用者数 定員 20 名 1 日平均利用者数 17.7 名（稼働率 88.3%）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用者数	466	470	474	498	500	526	558	589	598	602	540	620	6,441

【考察】

1. 経営の安定

令和 7 年 4 月の事業譲受によりやまゆりの事業所となった。当初は小規模多機能、有料老人ホームともに稼働率が低く低迷したが、全職員で目標数値を共有し、稼働率のアップを意識するようになり、その目標達成に一丸となって取り組んだ。特に職員の意識改革に注力し、ミーティングや職員会議を通して、「選ばれる事業所づくり」に向けた意識改革を行った。利用者の健康管理や個別ケアにおける満足度のアップ、事業所の PR 等に努めた結果、年度の後半にかけて著しく稼働率を上げていくことが出来た。

2. 個別ケア

日ごろから利用者お一人お一人の思いを聞き、本人らしい生活を過ごせるよう、ケアマネジャーのアセスメントの情報を共有し、きめ細やかなサービスを行った。また、職員の意識向上が利用者や家族の安心に繋がり、高い満足度を獲得することが出来た。

3. 安全対策、環境整備

ヒヤリハットや事故報告書などによるリスクマネジメントを行い、日頃から安心・安全なサービス提供を徹底した。年間を通じて大きな事故は発生しなかった。

10 月、11 月に感染症が発生したが、職員間の迅速な情報共有とマニュアルに基づく確な初期対応とゾーニングなどの対策により感染の拡大を防ぐことができた。今後もマニュアルの周知徹底と迅速な初動対応を徹底し更なる安心・安全な事業所運営を目指していく。

行事実施内容

実施月	実施内容
4 月	誕生会
5 月	誕生会
6 月	トリニティ学生交流、避難訓練、食レク
7 月	誕生会
8 月	七夕会、誕生会
9 月	敬老会
10 月	食レク、誕生会
12 月	クリスマス会、蕎麦打ち、門松づくり
1 月	神楽、誕生会
2 月	節分祭、誕生会
3 月	避難訓練、誕生会

※食レク…ご利用者のニーズや季節に合わせた「食べ物」を、一緒に作り味わう
レクリエーション

職員研修実施表（施設内研修）

研修内容	月日	参加人数
倫理及び法令遵守	5/1(水)～5/7(火)	動画視聴
高齢者虐待防止	8/1(金)～8/8(金)	動画視聴
身体拘束適正化	9/1(月)～9/8(月)	動画視聴
認知症研修、ユマニチュードについて	9/24(水)	14
感染症、食中毒予防と対策	11/21(金)	14
BCP について	11/21(金)	14
虐待、身体拘束について	1/15(木)	動画視聴
基本の感染症対策	3/15(日)～3/31(火)	動画視聴

令和 7 年度 事業報告 通所かがやきの家

（地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業（総合事業））

令和 7 年度目標

「心のやすらぎ、ふれあいの広場、生きがいづくり」を大切に
思いをつなぐ かがやきの家

【利用実績】 （定員 18 名、週 6 日営業、年間 309 日営業）

1. 利用者数 1 日平均利用者数 15.1 名（稼働率 84.0％） 平均介護度 1.2

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護	329	341	308	320	311	311	317	299	316	267	265	311	3,695
総合	72	80	92	100	76	91	89	73	75	66	84	83	981
合計	401	421	400	420	387	402	406	372	391	333	349	394	4,676

【行事報告】

4 月	手品交流会	5 月	ツリーリング演奏会 防災訓練	6 月	チームラボ演奏会 キラ多伎外出
7 月	七夕	8 月	夏祭り（神楽） 三世代交流	9 月	敬老会
10 月	ミニミニ運動会 やまゆり秋祭り 三味線演奏会	11 月	防火訓練	12 月	クリスマス会 おんぼらあと交流会
1 月	作品作り	2 月	節分祭	3 月	ひな祭り

【考察】

1. 経営の安定

年間の平均稼働率は 84.0％と目標の 88.8％を達成する事が出来なかったが登録人数は 50 名以上を維持する事が出来、稼働率が 90％を超える月は 1 回あった。1 月は雪や体調不良等での欠席が多く 77％と大きく下がった。1 月以外は年間を通して 85％前後の稼働率を維持する事が出来た。

2. 質の高いサービス提供

- ・利用者一人ひとりの状況を正確に把握するためにミーティングや情報共有ノートを活用し、統一したケアの提供をすることが出来た。職員が日々の観察をより密に行えるようになり、その結果、ご本人やご家族からの信頼につなげる事が出来た。
- ・個人の年間目標を明確にして職員一人ひとりが得意な分野で力を発揮できるようにした。苦手な事は互いに助け合いながら行う事が出来た。
- ・職員一人ひとりが気配り・目配りを意識して行動し利用者に笑顔で過ごして頂けるよう、寄り添ったケアに努めた。

3. 安全対策・環境整備

- ・職員間の情報共有を徹底する事でヒヤリハットは発生したが大きな事故はなかった。
- ・感染症予防対策としてやまゆり KYC 活動を毎朝実施し、利用者・職員の健康に繋げることが出来た。
- ・5月と11月に防火訓練を実施し日頃からの防災意識の向上をする事が出来た。
- ・地域の駐在所と交流を継続し安全対策や交通マナーを学んだ。

令和 7 年度 事業報告

通所やまゆり

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業 (総合事業))

令和 7 年度目標

○利用者、職員共に今日 1 日が満足だったと思える事業所作り

【利用実績】 (定員 18 名、週 5 日営業、年間 257 日営業)

1. 利用者数 1 日平均利用者数 15.5 名 (稼働率 86.2%) 平均介護度 1.2

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護	205	218	225	246	227	224	242	213	223	182	191	265	2,661
総合	113	110	108	125	103	116	126	111	123	103	100	102	1,340
合計	318	328	333	371	330	340	368	324	346	285	291	367	4,001

【行事報告】

4 月	屋外散策(桜花見など)	5 月	外出(多伎 海周辺)	6 月	かたら団子作り 外出(毛津 アジサイ花見)
7 月	七夕(短冊飾り付け)	8 月	花火壁画制作	9 月	敬老週間 防火訓練
10 月	法人秋祭り	11 月	演奏会ボランティア 外出(志津見 紅葉狩り)	12 月	クリスマスイベント
1 月	新年会 とんど祭り	2 月	節分祭 防火訓練	3 月	ひな祭り

【考察】

1. 経営の安定

年間の稼働率は 86.2%と前年度 78.7%を大きく上回り、目標の 83.3%を達成出来た。令和 7 年度は新規利用者 15 名を確保、その内 5 名は 5 月下旬までに利用開始、且つ週 2 日以上の利用登録者であったことで 6 月以降の稼働率が上昇した。1~2 月は利用者の体調不良や積雪等の影響が重なったが、2 月~3 月上旬までに新規登録者 5 名が利用開始 (その内 2 名は乙立里家デイ閉鎖による対応)、3 月再び稼働率が上昇した。感染症流行の影響等は無かったが、冬季は前述の要因等により稼働に影響を受け易い。夏季などは出来る限り脱水予防や熱中症対策にも努め、利用者の体調や身体機能の安定を図ることで利用継続につなげ、冬季の稼働率低下を夏季の間に補う動きが必要と考える。

2. 質の高いサービスの提供

現場で提案したことを実施後、評価、改善する仕組みとして「通所やまゆり みんなの提案書」を実施、利用者ケアに関する提案 16 件、業務改善に関する提案 15 件、行事計画に関する提案 11 件が挙がり、職員の提案や利用者の希望などをケアに反映させることが出来た。一方で、職場会議の定期的な開催が難しい場合、リアルタイムでの評価、改善の機会をどの様に代替していくか、また利用者の思いや要望を逃さないアセスメン

ト能力を、職員 1 人ひとりがどの様に培っていくかが今後の課題と考える。

3. 安全対策・環境整備

やまゆり KYC を継続、職員 1 人ひとりが感染予防の意識を継続出来た。加えて今年度は始業前、指差呼称の際の発声を意識、現場職員からも“気持ちが切り替わるので良い”と好評であり、業務に対するモチベーションの維持にもつながった。年 2 回の防災訓練を実施、初参加者も居たが、訓練経験者から重要な点の伝達も出来、理解につながった。令和 7 年度の事故報告は 11 件、その内利用者の転倒等が 6 件と最多で、特にトイレ使用時の事故が多かった。身障者用トイレ使用中に職員が離れる際の事故防止策として、車椅子や歩行器をトイレ外に離す必要のある利用者については、都度始業前に確認する等し、引き続き再発防止の意識の継続を図っていく。

令和 7 年度 事業報告

稗原デイサービスセンターやまゆり

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業 (総合事業))

令和 7 年度目標

○家庭的な食事提供と個々が輝くデイサービス

【利用実績】 (定員 10 名、週 6 日営業、年間 309 日営業)

1. 利用者数 1 日平均利用者数 7.8 名 (稼働率 77.4 %) 平均介護度

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護	210	197	195	199	191	184	198	174	171	147	144	168	2,178
総合	19	20	19	21	17	18	21	19	17	19	14	11	215
合計	229	217	214	220	208	202	219	193	188	166	158	179	2,393

【行事報告】

4 月	花見 (所原)	5 月	外出 (平成温泉)	6 月	外出 (須佐神社)
7 月	外出 (佐田、キララ多伎、日御碕)	8 月	動画上映 中学校体験学習	9 月	敬老会
10 月	法人秋祭り	11 月	防災訓練 外出 (吉栗の里、キララ多伎)	12 月	クリスマス会 外出 (須佐神社)
1 月	お正月行事 外出 (万九千神社)	2 月	節分祭 防火訓練	3 月	季節のお菓子作り

【考察】

1. 経営の安定

令和 6 年度の平均稼働率 70.1 % に対し令和 7 年度の平均稼働率は 77.4 % であった。月初に各居宅介護支援事業所へ出向き実績を手渡し、情報交換や空き状況等情報交換を行い、コミュニケーションを図り関係性の構築を図った

昨年度より稼働率は上がったが、新規利用者の確保ができなかった。冬季より体調不良や入院で、休まれる利用者が増え、徐々に稼働率が減少し、居宅介護支援事業所へ空き状況や案内文を作成し配布したが、新規利用者獲得には繋がらなかった。今後は、居宅介護支援事業所だけでなく、地域の方にも宣伝できるよう情報発信し、また稗原デイサービスの新しい売りを考え、職員一丸となり行動し、新規利用者の獲得に繋げていきたい。

2. 職員の資質向上と人材育成

在宅課内研修は事業所全体で積極的に参加し、参加出来なかった職員には資料を配布し、伝達研修を行った。利用者の状態や行っているケアの根拠を考えながら研修に参加する事で、利用者の状態に合わせて考えられる機会となり、現場で実践する際に職員間で自信へと繋がった。又、研修に参加し事業所全体で共有する事で提供するサービスの

質の向上にも繋がった。課外研修については事業所内での参加はなかった。今後案内があった際は事業所全体で参加できるよう調整し、更なるサービスの質向上に繋げていきたい。

3. 個別ケア

利用者が抱えておられるニーズに合わせてアセスメントを行い、介助方法を考えサービスの根拠を理解し、実践した。又、職員間で、情報共有しケアの統一を図る事で質の高いサービスの提供ができた。毎月の行事や外出計画を職員間で担当制にし、それぞれの職員が責任感を持ちながら準備する事で、利用者様のニーズや要望に合わせた支援を事業所全体で行う事ができた。

令和7年度 事業報告

浜山デイサービスセンター野いちご

(通所介護、介護予防・日常生活支援事業(総合事業))

令和7年度目標

○ご利用者様、ご家族様とスタッフとのつながりを大切にする

ぬくもりを感じ、安心して 過ごすことができるデイサービス

【利用実績】 (定員 20名、週5日営業、年間258日営業)

1. 利用者数 1日平均利用者数 14.1名(稼働率 70.8%) 平均介護度 1.6

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	296	297	280	327	289	275	293	264	267	278	256	283	3,405
総合	25	24	20	28	25	24	27	16	11	13	20	18	251
合計	321	321	300	355	314	299	320	280	278	291	276	301	3,656

【行事報告】

4月	お花見外出 誕生会	5月	浜遊自然館親水池 外出 誕生会	6月	菖蒲見物外出 誕生会
7月	七夕 誕生会	8月	誕生会	9月	敬老会 誕生会
10月	やまゆり秋祭り キララ多伎、稲佐の浜 外出 誕生会	11月	防災訓練(火災) 民謡ボランティア 紅葉ドライブ 誕生会	12月	クリスマス会 ミニツリー作り 誕生会
1月	書初め 福笑い 誕生会	2月	節分ゲーム 出雲伝承館外出 誕生会	3月	ひな祭り(パフェ) 防災訓練(火災) ハーモニカボランティア 吉兆館外出 誕生会

【考察】

1. 経営の安定

年間の平均稼働率は70.8%と目標の稼働率85%(一日利用者数17人以上)を達成できなかった。新規利用の方の受け入れは年間で19件あったが、終了者も多く(15件)、稼働率が伸びなかった。特に週5日利用されていた方が終了となり、稼働率に大きく影響が出た。新規利用者獲得のため、居宅介護支援事業所へ空き状況やデイサービスの活動を記載したパンフレットを配布し、お試し利用の受け入れを実施した。

時間外業務をなるべく少なくできるように業務内容の見直しを行った。

2. 質の高いサービスの提供

在宅課の職員研修へ積極的に参加した。やむを得ず参加できない時は資料を配布し、確認するようにした。外出を昨年度よりも多く企画し、利用者の楽しみや生活意欲の向上に繋がるように工夫した。連絡ノートを用いて利用者や家族と情報共有することができた。

3. 安全対策、環境整備

毎朝のミーティングで注意事項を確認、共有することで事故発生防止に努めた。事故発生時は事故報告書で転倒などの状況を分析し、事故再発防止に努めた。デイサービス内で感染症が流行り、欠席者が増えた時があった。ご家族に状況を電話連絡し、感染拡大防止に努めた。手洗い、うがいの励行、健康観察などを実施し、体調の変化がある方には受診をすすめた。

消防署の指導のもと防火訓練を実施し、利用者、職員の防災意識を向上することができた。

4.地域との関わり

事業所の情報発信のため、月 1 回以上を目標に SNS への投稿を行った。

ボランティアの受け入れを行った。

大社中学校の「介護の基礎的講座」へ講師として職員が参加した。

令和7年度 事業報告 やまゆり居宅介護支援事業所

令和7年度目標

「住み慣れた地域で暮らしたいを支えます」
～つながる、ひろがる、認め合う～

【利用実績】

1. 居宅介護支援 月平均 86.4 名 平均介護度 1.9

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	87	85	84	94	90	88	87	90	87	82	80	83	1,037

2. 介護予防支援業務（出雲高齢者あんしん支援センター受託分）月平均受託者数 50.1 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	42	43	44	43	43	40	39	41	39	40	43	41	498
総合	9	9	8	8	10	8	9	8	8	9	9	9	104
合計	51	52	52	51	53	48	48	49	47	49	52	50	602

【考察】

1. 経営の安定

ケアプラン作成件数は介護給付 88 人/月 予防給付 50 人/月であった。目標としていた介護給付 95 人/月には届かなかったが予防給付は 50 人/月と目標を達成する事が出来た。要因として2月に職員1名を採用し休止していた予防給付の新規受付を採用する事があげられる。また、各種加算の算定要件を満たすことが出来、特定事業所加算Ⅱを継続して取得する事が出来た。

2. ケアマネジメント力の向上、地域貢献について

介護支援専門員に関する各種研修会へ積極的に参加し、専門性の向上に努めた。外部研修に加え、在宅課研修には毎回全職員が参加し、組織全体で知識と技術の底上げを図っている。また、当法人以外の事業所との合同研修にも参加し、他機関との連携強化や新たな視点の獲得に努め、職員一人ひとりの知見の幅を広げることができた。

職員の特技や趣味を生かした取り組みとして、花壇での花の栽培や鉢植えの育成など、施設の美化活動を継続して実施した。

また、SNS を活用し、訪問先での様子や職員の休日の過ごし方などを発信することで、働きたくなる職場づくりに向けた情報発信・PR 活動にも取り組んだ。職員の人柄や職場の雰囲気が伝わる内容とすることで、採用活動にも良い影響を与える事が出来た。

地域貢献活動の一環として、町内サロンにて「介護保険制度」「地域包括ケアにおけるケアマネジャーの役割」に関する出前講座を2回実施した。

令和7年度 事業報告
やまゆり訪問介護事業所
(訪問介護・訪問型サービス(第1号訪問事業)・障がい福祉サービス)
令和7年度目標

○一人ひとりの思いに寄り添い、笑顔あふれる訪問介護

【利用実績】

1. 介護・総合訪問回数 1日平均訪問回数 8.0回 平均介護度 0.8

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	134	145	140	142	127	125	134	115	126	122	119	157	1,586
総合	105	113	97	118	126	117	121	113	120	119	107	90	1,346
合計	239	258	237	260	253	242	255	228	246	241	226	247	2,932

2. 障がい福祉訪問回数 1日平均訪問回数 1.5回

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延訪問回数	55	58	44	45	44	41	44	42	47	46	44	48	558

【考察】

1. 経営の安定

介護保険事業について月の目標訪問件数 220 件に対し平均 132 件、総合事業は月の目標件数 90 件に対し平均 112 件、障害福祉サービスは月の目標 50 件に対し 47 件であった。総合事業の依頼が多く介護保険事業の目標件数は目標に届かなかった。

ICT を活用し業務の効率化を図り、時間外勤務の削減に努めた。併せてペーパーレスを推進し、コストの削減に繋がった。

2. 質の高いサービス提供

月1回の事業所内ミーティングを実施し、情報共有や振り返りを行い、利用者の状態に合わせた支援を行った。居宅介護支援事業所や関係事業所と連絡を密にとり情報共有を行った。

利用者、家族の思いを傾聴し信頼関係を築く事を目標に、話しやすい関係作りに努めた。

研修参加への声掛けや参加しやすい勤務調整を行い、法人内研修への参加率が向上した。参加率が上がった事で職員一人ひとりの満足度やスキルの向上に繋げる事が出来た。外部研修への参加は出来なかった。

3. 安全対策・環境整備

ヒヤリハットの分析、事故防止対策を行い情報共有した。ニーズに合わせたリスクマ

ネジメント等の情報共有を行う事が出来た。感染症対策としてやまゆりKYCを各自で実施し手洗い、消毒など徹底する事が出来た。

4. 魅力の発信

訪問先での様子や職員の休日の様子をSNSに発信し、訪問介護のやりがいや、働きやすい職場環境のアピールをする事が出来た。利用者様の方から「これを載せてほしい」と依頼される事もあった。

令和 7 年度 事業報告 生活支援ハウス（居住）

令和 7 年度目標

健康で生きがいを持ち、顔なじみの方が住む地域で、自分らしく
いきいきとした生活ができる

【実績】

1. 入居者数 入居実績（入院含む）年間総計 3,285 名、一日平均入居者数名 9 名

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延入居者数	270	279	270	279	270	270	279	270	279	279	252	279	3,285

【行事報告】

4 月	お花見	5 月	土砂災害訓練 外出（買い物）	6 月	土砂災害訓練
7 月	防火訓練	9 月	敬老会 お彼岸(おはぎ作り)	10 月	法人秋祭り
12 月	クリスマス会	1 月	お正月 茶会	3 月	お彼岸 (ぼたもち作り)

【考察】

1. 経営の安定

1 日あたりの入居者数は目標である 9 名を達成した。しかし、新規の申し込み予定者がいないため、今後の運営について懸念が生じている。

2. 楽しみのある生活

誕生会やクリスマス会など季節の行事を年間計画に沿って実施する事が出来た。今年度は外出をする機会は少なかったが法人の行事へ参加する機会が多くあり入居者の満足度に繋がった。併設している特養の秋祭りにも参加をする事が出来た。

3. 質の高いサービス提供

毎月の課内研修は集合研修への参加は出来なかったが、レポート形式の研修へは参加が出来た。事業所内での情報共有は連絡ノート等を使用し日勤も夜勤も対応方法の統一が出来た。

4. 安全対策・環境整備

年 2 回の防火訓練には夜勤者 2 名ずつで参加し防災意識の向上に努める事が出来た。土砂災害避難訓練も入居者も参加し避難準備から避難完了までをしっかりと訓練する事が出来た。

令和7年度 行事、地域交流実施状況

通所かがやきの家

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	手品ボランティア	地域の方	4月11日	1
	音楽ボランティア	ツリリングス	5月13日	8
	音楽ボランティア	チームブラボー	6月18日	7
	講話	佐田駐在所	7月25日	1
	神楽ボランティア	地域の方	8月21日	1
	三世代交流	社協、児童クラブ	8月21日	10
	事業所交流（せせらぎの家）	笑いヨガ	9月8日	2
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月21日	
	職場体験学習	佐田中学校	10月28日	6
	三味線ボランティア	本間様	10月29日	1
	余興ボランティア	おんぼらあと	12月14日	4
	和太鼓演奏会	須佐小学校 和太鼓クラブ	1月27日	12

通所やまゆり

	活動内容	個人・団体名	実施日	人数
	事業所交流	稗原デイサービス利用者	5月	15
	福祉体験学習	出雲三中	6月26日	1
	介護の基礎的講座	佐田中学校1年生	9月25日	1
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月21日	
	職場体験学習	佐田中学校	10月28日	6
	音楽ボランティア	チームブラボー	11月6日	7

稗原デイサービスセンターやまゆり

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	事業所交流	通所やまゆり 利用者	5月	10
	早期地域看護学研修	島根医大	8月28日	5
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月21日	
	音楽ボランティア	ハーモニカ	11月16日	1

浜山デイサービスセンター野いちご

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	音楽ボランティア	ハーモニカ	10月	1
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月21日	
	介護の基礎的講座	大社中学校	1月16日	1

居宅

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月21日	
	在宅医療座談会	せせらぎサロン	10月28日	3
	在宅医療座談会	中央わかさの会	11月30日	1

居住

	活動内容	個人・団体名	実施日	人数
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月21日	

実習受け入れ状況

実習学校	日程	人数	実習先
トリニティ出雲医療専門学校	6月17日～20日	1名	通所やまゆり、訪問介護
出雲医療福祉専門学校	9月16日～24日	3名	通所やまゆり

令和7年度 在宅課 研修実施表（施設外研修）

事業所名	研修名	実施日	人数	場所
居宅	出雲地域介護支援専門員協会 総会研修	5月30日	1	出雲市民会館
	重症神経難病支援研修会	6月9日	1	出雲保健所
	地域ケア個別会議	6月16日	1	出雲市役所
	気付きの事例検討会	5月21日 7月16日 9月17日 11月12日	1	もくもく苑
	居宅介護支援事業者 研修会	11月12日 11月19日	3	出雲科学館
	4居宅(湖陵・多伎・佐田)事例検討会	12月18日	3	湖陵あんしん支援センター
	意思決定支援研修会	12月16日	4	朱鷺会館
	認知症研修会	6月5日	3	ビッグハート出雲
	ケアマネジメント研修	2月28日	1	パルメイト出雲

令和 7 年度 在宅課 職員研修実施表（施設内研修）

研修内容	月日	参加人数
倫理及び法令順守	4 月 17 日(水)	レポート形式
個人情報保護とプライバシーの保護	5 月 28 日(水)	21
非常災害時の対応 業務継続計画(BCP について)	6 月 18 日(水)	動画視聴
認知症ケア	7 月 16 日(水)	18
接遇について	8 月 21 日(水)	24
食中毒と感染防止	9 月 17 日(水)	19
介護リスクマネジメントと介護事故防止(入浴介助)	10 月 15 日(水)	23
緊急時の対応と救急法	11 月 19 日(水)	20
身体拘束・虐待防止	12 月 17 日(水)	19
障がいの特性と配慮や支援のポイント	1 月 21 日(水)	18
介護予防と要介護度進行予防	2 月 18 日(水)	18
令和 7 年度 活動報告	3 月 27 日(水)	23

令和7年度 事業報告

フィリア

(就労継続支援B型)

【利用実績】 (定員 20 名、週 5 日営業、年間 240 日営業)

1. 利用者数 1 日平均利用者数 20.98 名 (稼働率 104.9%)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用者数	460	403	432	432	424	430	411	384	424	404	378	455	5,037

【考察】

1. 経営の安定

令和7年4月からやまゆりの運営となったが、ご利用者、職員とも大きな混乱なく事業が運営できた。

年間の平均稼働率は 104.9%と目標の 80.0%を大きく上回る利用者数だった。

職員による丁寧な声掛けと対応により、欠席者を出来るだけ少なくするよう努力した。

2. 利用者の安定と生活の質の向上

個人の特性に合わせた利用を促しながら、集中して作業ができる空間づくりに努めた。

トラブルやパニックが発生した利用者に対しては、個別に聞き取りや寄り添いを行い本人にとっても、他の利用者にとっても居心地の良い場所であるように努めた。

作業面においては、検品体制を強化し、欠陥品（不良品）の発生防止に細心の注意を払い作業を進めた。

一方で、安定した通所ができる人はいたが、一般就労やステップアップとなる福祉就労への移行支援という面では、個々の課題もあり具体的な成果につなげることが難しい側面もあった。

また、今年度は作業効率の向上と安定した受注に伴い、目標としていた工賃額を達成することができた。利用者への確実な還元につながったことは大きな成果である。しかしながら、昨今の不安定な世界情勢により今後の受注動向については予測が難しい面もあるため、更なる工賃水準の向上を目指し、取引先の開拓などを視野に入れ、外部環境の変化に強い安定した就労機会の提供に努める。

3. 他機関との連携

他事業所相談支援専門員、行政機関、病院などと連携をもち、必要な会議などを行った。

令和 7 年度 事業報告 相談支援事業所 フィリア

【利用実績】

1. 利用者数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
成人	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	225
児童	12	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	166

【考察】

1. 適切なサービス利用計画の作成

サービス利用計画の作成については、利用者、家族の思いを受け止め、同意を得ながら作成できている。

2. 関係機関との連携

行政や病院、サービス提供事業所と連携をとりながら行った。

介護保険サービスの必要な方に対して、本人に合ったサービスを調整しながら、介護保険に引き継ぐことができた。

3. 職員の専門性の向上

サービス調整会議などの研修機会に参加した。

令和7年度 事業報告 障がい者相談支援事業所 ほっと

令和7年度目標

○「あなたらしい」生活を。自分で選び、自分で決める。

【利用実績】

1. 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	12	12	12	12	13	14	14	16	16	17	18	18	174

【考察】

1. 適切なサービス利用計画の作成

新規利用者を獲得することが出来、目標数を達成することが出来た。

サービス利用計画の作成については、利用者、家族の思いを受け止め、同意を得ながら作成できている。

2. 関係機関との連携

行政や病院、サービス提供事業所と連携をとりながら行った。利用者のニーズに合わせた社会資源の掘り起しまでは出来なかった。今後もその視点を忘れないようにする。サービス調整をしていく中で、調整がうまくいかないことがあり、社会資源の不足などに対する情報発信の大切さを感じた。

3. 職員の専門性の向上

サービス調整会議への参加や訪問指導を受け、様々な学びがあった。

